

「協働」が新しいまちづくりのカチをつくりだす！！

平成28年度 掛川市市民活動推進事業 報告書

平成29年5月13日

掛川市生涯学習協働推進課

目 次

掛川市市民活動推進事業 採択団体一覧	1
団体育成事業	
かけがわこどもアレルギーの会	2 ~ 3
「アレルギーで悩む親子の相談、勉強会を行う子育て支援事業」	
活性化支援事業	
NPOちゃんぶる	4 ~ 5
「森の都『おわだ秋桜まつり』～森のアドベンチャーウォーキング～」	
達人に学び伝える会	6 ~ 7
「『葛布』の伝統を守り、新しい活用を探る」	
This is Kakegawa	8 ~ 9
「かけがわお茶の間クイズ&すごろく」	
パートナーシップ事業	
NPO法人時ノ寿の森クラブ	10 ~ 11
「都市と地方が支え合うコミュニティービジネスの構築」 (協働相手：倉真地区まちづくり協議会、一般財団法人森林環境整備財団、 (株)H.I.S東日本法人団体専門店事業部)	
横須賀よさこい実行委員会	12 ~ 13
「まじすかよこすか 2016～第3回横須賀よさこい祭り～」 (協働相手：掛川市食品衛生協会)	
Kakegawa Band Festival 実行委員会	14 ~ 15
「Kakegawa Band Festival」 (協働相手：中心市街地活性化推進室)	
倉真温泉組合	16 ~ 17
「倉真地区温泉郷おもてなし案内看板製作事業」 (協働相手：倉真まちづくり委員会)	
どこ屋台実行委員会	18 ~ 19
「どこ屋台」 (協働相手：IT政策課)	
掛川青年会議所	20 ~ 21
「『希望(のぞみ)の翼』～輝くちいきとまち創り～」 (協働相手：福祉者スポーツセンター)	
松本亀次郎記念日中友好国際交流の会	22 ~ 23
「松本亀次郎の生きた軌跡に学ぶ事業」 (協働相手：土方地区まちづくり協議会文化人づくり部会)	
NPO法人冀北の杜	24 ~ 25
「『絵本は愛情ホルモン 優しい心のバトンをつなぐ』 ～障がい者就労で絵本を創る～」 (協働相手：福祉課、子ども読書を考える会)	
静岡ICT教育21	26 ~ 27
「ネット断食/自然体験プログラムによる子育て支援事業」 (協働相手：NPO法人時ノ寿の森クラブ)	

平成28年度掛川市市民活動推進事業 採択団体一覧

	団体名（件数）	金額(円)	補助種別	事業種別	協働相手	タイトル
1	かけがわこどもアレルギーの会	33,000	補助 (1/2)	団体育成	-	アレルギーで悩む親子の相談、勉強会を行う子育て支援事業
2	NPOちゃんぷる	60,000	補助 (1/2)	活性化支援	-	森の都「おわだ秋桜まつり」～森のアドベンチャーウォーキング～
3	達人に学び伝える会	100,000	補助 (1/2)	活性化支援	-	「葛布」の伝統を守り、新しい活用を探る
4	This is Kakegawa	45,000	補助 (1/2)	活性化支援	-	かけがわお茶の間クイズ&すごろく
5	NPO法人時ノ寿の森クラブ	500,000	補助 (1/2)	パートナーシップ	倉真まち協 他2団体	都市と地方が支え合うコミュニティービジネスの構築
6	横須賀よさこい実行委員会	400,000	補助 (1/2)	パートナーシップ	掛川市食品衛生協会	まじすかよこすか2016 ～第3回横須賀よさこい祭り～
7	Kakegawa Band Festival実行委員会	310,000	補助 (1/2)	パートナーシップ	中心市街地活性化推進室	Kakegawa Band Festival
8	倉真温泉組合	300,000	補助 (1/2)	パートナーシップ	倉真まちづくり委員会	倉真地区温泉郷おもてなし案内看板製作事業
9	どこ屋台実行委員会	250,000	補助 (1/2)	パートナーシップ	IT政策課	どこ屋台
10	掛川青年会議所	200,000	補助 (1/2)	パートナーシップ	福祉者スポーツセンター	「希望(のぞみ)の翼」～輝くちいきとまち創り～
11	松本亀次郎記念日中友好国際交流の会	300,000	補助 (1/2)	パートナーシップ	土方地区まちづくり協議会文化人づくり部会	松本亀次郎の生きた軌跡に学ぶ事業
12	NPO法人冀北の杜	300,000	補助 (3/4)	パートナーシップ	福祉課 子ども読書を考える会	「絵本は愛情ホルモン 優しい心のバトンをつなぐ」～障がい者就労で絵本を創る～
13	静岡ICT教育21	205,000	補助 (1/2)	パートナーシップ	NPO法人時ノ寿の森クラブ	ネット断食/自然体験プログラムによる子育て支援
13団体		3,003,000				

様式第 14 号

事業報告書

団 体 名	かけがわこどもアレルギーの会
事 業 名	アレルギーで悩む親子の相談、勉強会を行う子育て支援事業
事 業 内 容 (実施内容とスケジュールを具体的に記載)	<p>1 アレルギーの会開催準備 (9/19) 講師：NPO法人アレルギー支援ネットワーク 内容：会員が患者会運営について学ぶ</p> <p>2 アレルギーの会開催 (11/23) 講師：NPO法人アレルギー支援ネットワーク 内容：アレルギーっ子の災害対策を学ぼう</p> <p>3 今年度の反省会、来年度に向けて (①1/14、②3/11) ① おしゃべりの会 (今年度の反省会) ② 来年度に向けて</p> <p>※ 今年度は、組織の確立と運営のノウハウの蓄積に重点を置いた。</p>
事 業 成 果 (事業計画に記載した課題の解決・改善成果を確認方法の観点から記載)	<p>会運営が円滑にいくよう専門家を招き、会運営の講習会を実施したことで、会がトラブルなくスムーズにできた。</p> <p>災害に対する勉強会を開催したことで、災害時の対応、準備に対する知識の向上を図れ、生活の質を保つ力が備わったアンケート結果から、参加して満足したとの回答が100%だった。同じ悩みを持つ仲間がいることを知り、精神的な支えができた。また今後も相談する場があることが、生活していく上で安心して子育てができることの基盤となったと考えられる。</p>
事 業 期 間	平成28年9月15日 ~ 平成29年3月20日
協働の成果 (事業計画に記載した協働相手の役割の観点から記載) (※パートナーシップ事業・行政課題解決事業のみ)	
今後の展開 (短期・中期のビジョン、「協働」を見据えた観点から記載)	<p>① 今後も定期的にサロンを開催し、アレルギー疾患を有する子育て中の保護者が安心して生活できるよう支援したい</p> <p>② 今後、医療機関や行政と連携し、アレルギー疾患の社会的理解・予防対策を進めていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時、避難所でのアレルギー対応非常食の配備、アレルギー対応の炊き出し方法など今度自治体との協働も行いたい ・掛川市内の園・学校給食・学童保育について市の教育機関と協働し、アレルギー対策を考えていきたい

様式第7号

収 支 決 算 書

団体名:かけがわこどもアレルギーの会

(収入)

区分	決算額(円)	説明
補助金	33,000	市民活動推進事業補助金
参加費	12,200	22組@500円、12組@100円、
自己負担金	22,179	かけがわこどもアレルギーの会
合計	67,379	

(支出)

区分	決算額(円)	説明
報償費	30,000	講師謝礼(2回@15000円)
旅費	19,000	講師交通費(2回@9500円)
文具消耗品費	10,994	用紙、筆記用具、インク等
通信運搬費	902	郵便切手等
印刷製本費	2,443	チラシ、ポスター、勉強会資料コピー代
使用料・貸借料	4,040	会議室等利用料
合計	67,379	
(うち対象外経費)		

様式第 14 号

事業報告書

団 体 名	NPO ちゃんぷる
事 業 名	森の都「おわだ秋桜まつり」～森のアドベンチャーウォーキング～
事 業 内 容 (実施内容とスケジュールを具体的に記載)	掛川市大和田区にある、「いいとこ広場」とその周辺の耕作放棄地を使用し秋桜まつり&森のマルシェを開催。 法の脇神社から山道を散策して荒廃した山の現状を知ってもらうために、ネイチャービンゴゲームで日ごろ見落としがちな自然を感じてもらおう森のアドベンチャーウォーキングを行った。 <スケジュール> 6月 広報・草刈り・地ならし 7～8月 広報・草刈り・種まき 9～11月 広報(出店者募集)・草刈り 11月6日 イベント
事 業 成 果 (事業計画に記載した課題の解決・改善成果を確認方法の観点から記載)	①地元の方から耕作放棄地を借用して秋桜畑に活用した。 ②地元の河川敷にある「いいとこ広場」で子どものあそび場や手作りマルシェ・体験コーナー、フード、和太鼓演奏などに親子でたくさんの方が参加。県内外から約900人 ③地元の出店として、鮎の塩焼き、焼きいも、猪のBBQ ・区長や近所の方、さくら咲く学校関係者の支援協力があった。 ・今回のイベントを通して地域住民とのつながりを築き、様々な活動を定期的に行うことができるきっかけとなった。 ・次回の秋桜まつりは、原泉地区まちづくり協議会との共催で開催が見込まれ、今後は大和田地区のみならず、原泉地域の地域資源を活用して、たくさんの人に来てもらうことの企画・提案などを地域住民と一緒に構築していく。
事 業 期 間	平成 28 年 6 月 20 日 ～ 平成 28 年 12 月 14 日
協働の成果 (事業計画に記載した協働相手の役割の観点から記載) (※パートナーシップ事業・行政課題解決事業のみ)	
今後の展開 (短期・中期のビジョン、「協働」を見据えた観点から記載)	・次回の秋桜まつりは、原泉地区まちづくり協議会との共催での開催が見込まれ、今後は大和田区のみならず、原泉地域の地域資源を活用して、たくさんの人に来てもらうことの企画・提案などを地域住民と一緒に構築していく。

様式第7号

収 支 決 算 書

団体名:NPOちゃんぷる

(収入)

区分	決算額(円)	説明
補助金	60,000	市民活動推進事業(活性化支援事業)
フリーマーケット出店料	30,000	市民団体 1区画500円/店舗販売 1区画1,000円
寄附金	6,370	地域協賛金
自己負担	25,000	
合計	121,370	

(支出)

区分	決算額(円)	説明
報償費	30,000	おもちゃコンサルタント、フィールドアスレチック
文具消耗品費	24,853	
印刷製本費	20,000	チラシA4/1,000部 ビンゴカード/100枚 ウォーキングマップ/300部
食糧費	2,000	講師昼食代
通信運搬費	2,617	郵送代
使用料・貸借料	35,000	土地賃借料、車両・機材、トランシーバー・誘導灯等
保険費	6,900	傷害保険
合計	121,370	
(うち対象外経費)		

事業報告書

団 体 名	達人に学び伝える会
事 業 名	「葛布」の伝統を守り、新しい活用を探る
事 業 内 容 (実施内容とスケジュールを具体的に記載)	葛苧の講座・県外対象 6/18～20 (ならここの里ほか) ・市民対象 7/2 (上垂木ほか) 葛織り体験講座 11/24 (大東図書館) 葛のある暮らし展 H29/2/17～19 (大東図書館ホール) ワークショップ ・古代布 (藤布と葛布) の比較 6/18 (ならここの里) ・葛繊維を使った小物づくり 6/19 (竹の丸) ・「葛をアートに」 H29/2/19 (大東図書館)
事 業 成 果 (事業計画に記載した課題の解決・改善成果を確認方法の観点から記載)	葛苧の講座に小笠高から職員と生徒6人が参加して、若い層の関心を少し広げることができた。また県外から9人の参加があり、葛布の良さを外からも評価された。 展示会には、455人もの来場者があった。アンケートのなかで、昔の製品の緻密さに感心し、その保存方法を心配する人が多かった。藤織り製品の貸出をしてくれた京都丹後市の保存会の制度が参考になった。 実施した事業はどれも定員を超え、アンケートの満足度も非常に高かった。
事 業 期 間	平成 28 年 6 月 10 日 ～ 平成 29 年 3 月 7 日
協働の成果 (事業計画に記載した協働相手の役割の観点から記載) (※パートナーシップ事業・行政課題解決事業のみ)	
今後の展開 (短期・中期のビジョン、「協働」を見据えた観点から記載)	「葛布の伝統」を消さないようにとの想いで活動を続けてきたが、夏の盛りの「葛苧の講座」は、会員の高齢化で負担が大きくなっている。ならここの里のような公的民営の場が主催して、会としては協力にまわりたいと考えている。 とくにこれから体験宿泊は伸びてくる傾向にあるので、掛川市の観光と伝統産業と合わせて考えてはどうだろうか。 葛関連の講座に参加する市外の人が多くなれば、作品の全国コンクールや、古代布サミット開催なども可能だ。

様式第7号

収 支 決 算 書

団体名: 達人に学び伝える会

(収入)

区分	決算額(円)	説明
補助金	100,000	市民活動推進事業補助金(活性化支援事業)
参加費	80,000	体験参加費
会費	73,449	
合計	253,449	

(支出)

区分	決算額(円)	説明
報償費	103,000	講師謝礼(機織り講座2名、ワークショップ3名) 展示会協力謝礼7名
旅費	4,000	講師交通費(機織り講座2名)
文具消耗品費	17,652	燃料用薪代、機織り体験等系代、展示用道具代等
印刷製本費	7,940	チラシ製作費、資料印刷代
食糧費	18,377	ワークショップ茶菓子代、講昼食代
通信運搬費	22,730	葛芋講座のトラック運搬、関係者郵送代
使用料及び貸借料	74,765	会場費(展示会・ワークショップ) 講座資材借用(大釜等)
保険費	4,985	講座参加者保険料
合計	253,449	
(うち対象外経費)		

様式第 14 号

事業報告書

団 体 名	This is Kakegawa
事 業 名	かけがわお茶の間クイズ&すごろく
事 業 内 容 (実施内容とスケジュールを具体的に記載)	<p>1 1 月 1 3 日 掛川市生涯学習センターにて 青空トランポリンにて大すごろく実施</p> <p>1 2 月 9 日 日坂小学校にて 「かけがわお茶の間クイズ&すごろく」贈呈式</p> <p>1 2 月 9 ・ 1 0 日 市内小学校 2 1 校 「かけがわお茶の間クイズ&すごろく」配布</p> <p>1 月下旬アンケート回収</p> <p>2 月アンケート集計</p> <p>2 月 8 ・ 1 5 日 大浜学園参加</p>
事 業 成 果 (事業計画に記載した課題の解決・改善成果を確認方法の観点から記載)	<p>アンケート集計からお茶の間での家族団欒の中でのすごろくにより掛川に関する興味がわいたことがうかがわれた。実際に訪れてみたいとの意見もあり掛川に関する知識を深めてもらえるだろう。</p> <p>さらに 様々な遊びができる大すごろくで遊びながら掛川市の地形や名所旧跡に関心を持つことができた。「おもしろかった」は 8 0 % ではあったが成果はあった。</p>
事 業 期 間	平成 2 8 年 8 月 4 日 ~ 平成 2 9 年 2 月 2 8 日
協働の成果 (事業計画に記載した協働相手の役割の観点から記載) (※パートナーシップ事業・行政課題解決事業のみ)	
今後の展開 (短期・中期のビジョン、「協働」を見据えた観点から記載)	<p>短期：「かけがわお茶の間クイズ&すごろく」の 4 年生全員への配布</p> <p>中期：「大すごろく」を小学校だけではなく広い年代で楽しんでもらえるよう地域での活用を働きかける。 活動資金捻出方法の検討。</p>

様式第15号

収 支 決 算 書

団体名: This is Kakegawa

(収入)

区分	決算額(円)	説明
補助金	45,000	市民活動推進事業(活性化支援事業)
寄附・企業賛助金	45,097	
合計	90,097	

(支出)

区分	決算額(円)	説明
印刷製本費	80,419	すごろく・解答・アンケート印刷、大すごろく印刷
文具消耗品費	9,678	大すごろくクイズ板・ジグソーパズル用品・コピー用紙・事務用品
合計	90,097	
(うち対象外経費)		

様式第 14 号

事業報告書

団 体 名	NPO 法人 時ノ寿の森クラブ
事 業 名	都市と地方が支え合うコミュニティービジネスの構築
事 業 内 容 (実施内容とスケジュールを具 体的に記載)	<p>・コミュニティービジネス構築のため、次の事業を行った。</p> <p>(1) 森林里山資源調査及び、都市の課題情報収集 (2) 森林里山資源を活用した交流ツアーの社会実験を行った。 (3) 持続可能な都市と地方のコミュニティービジネスの研究・開発 を行い、「時ノ寿学校」事業を企画し、事業化に向けて都市住 民及び市民に対し、広報発信を行った。</p> <p><都市と山村の課題整理と里山資源調査></p> <p>① 森林・里山資源調査 日時：5月7日 午前9時～午後5時</p> <p>② 森林・里山資源調査と意見交換会 日時：6月4日、5日 午前9時～午後4時</p> <p>③ 都市交流社会実験「夏の山村体験ツアー」 日時：8月11日、12日</p> <p><都市発信のためのキャンペーン></p> <p>① 森林資源活用のための情報発信と収集 日時：6月11日、12日</p> <p>② 都市発信のためのキャラバン隊の東京派遣 日時：7月14日 午前10時～午後6時30分</p> <p><市民発信のための公開講演会></p> <p>① 都市と地方が支え合う社会をめざして 日時：9月17日 午後1時30分～午後3時</p> <p><村祭り参加ツアー開催></p> <p>① 都市交流社会実験「村祭り体験ツアー」 日時：10月8日、9日 午後1時～翌正午</p> <p><里山ビジネススタディ開催></p> <p>① 時ノ寿学校里山ビジネス研究「森のようちえん」 日程：7月～1月 全6回</p>
事 業 成 果 (事業計画に記載した課題の解 決・改善成果を確認方法の観点か ら記載)	<p>事業開始当初に協働4者で協議する場を設け、意見交換及び目的の 共有・方向性の確認をはかり、納得して事業スタートすることがで きた。都市住民のニーズや地方のニーズの調査、また地方の資源の 活用のための情報収集をした。一方、都市住民への情報発信及び、 市民に対する都市交流の必要性を啓発することができた。</p> <p>村祭り体験ツアーでは、倉真まちづくり協議会を通じた地元住民 への事前情報共有をし、理解を得て開催した。結果、豊かな里山を 背景に代々受け継がれてきた文化のひとつである、村祭りに都市住 民を参加させ、感動を与えることができた。参加者からは、屋台の 引き回しを通じた地域住民との深い交流や、山村文化の魅力発見に より、今後の参加希望の声も寄せられた。地元住民には、人口減少 により屋台の引き回しが難しくなる地区が現れる中、都市住民の参 加により存続の希望や期待を持ってもらうことができ、来年度以降 の継続を希望する声が寄せられた。</p> <p>本年度の事業を通じて、都市と地方が支え合うコミュニティービ ジネスとして、森のようちえん及びエコツアーリズム（山村体験ツア ー・村祭り体験ツアー）を含めた時ノ寿学校を事業化することとし た。</p>
事 業 期 間	平成28年 4月28日 ～ 平成29年 1月31日
協働の成果 (事業計画に記載した協働相手 の役割の観点から記載) (※パートナーシップ事業・ 行政課題解決事業のみ)	<p>① 協働相手として、倉真まちづくり協議会については、地元住民の 理解、協力を得て、事業を進めることができ、住民からは次年度 以降の継続を望む声が上がった。</p> <p>② 協働相手として、(一財)森林環境整備財団については、東京都に 拠点を置き、時ノ寿の森クラブと姉妹提携を組み、協働による都 市と山村交流事業を継続する確約ができた。</p> <p>③ 協働相手の(株)エイチ・アイ・エスについては、企業として、都 市と山村交流事業を商品とするまでには、今回至れなかった。</p>
今後の展開 (短期・中期のビジョン、「協働」 を見据えた観点から記載)	<p>自走の試みとして、2月25日、26日に3者の協働で、都市と山村交 流ツアーを実施する予定である。</p>

様式第7号

収 支 決 算 書

団体名:NPO法人時ノ寿の森クラブ

(収入)

区分	決算額(円)	説明
補助金	500,000	市民活動推進事業(パートナーシップ事業)
参加料	122,000	
負担金	24,975	森林環境整備財団
	647,083	NPO法人時ノ寿の森クラブ
合計	1,294,058	

(支出)

区分	決算額(円)	説明
報償費	68,000	講演会講師50000円、自治会謝礼18000円
旅費	109,150	打合せ交通費(3810円、16120円(東京-掛川)) 東京派遣(交通費2人@14000円、3回@380円、10240円 宿泊費2人@9720円)、宿泊費30400円
文具消耗品費	67,222	教材作成費、パネル材料等
印刷製本費	652,036	パネル製作費、チラシ印刷代
食糧費	110,133	打合せ茶菓子代、参加者飲料、昼食代
通信運搬費	56,276	郵送料、ガソリン代
使用料・貸借料	163,126	レンタカー代、会場使用料、入浴料、等
手数料	68,115	振込手数料、折込手数料、クリーニング代
合計	1,294,058	
(うち対象外経費)	162,292	報償費(自治会謝礼)18000、食糧費(昼食代)105392、旅費(参加者宿泊費)30400、使用料・貸借料(温泉入浴料)2500、手数料6000

事業報告書

団 体 名	横須賀よさこい実行委員会
事 業 名	まじすかよこすか2016～第3回横須賀よさこい祭り～
事 業 内 容 (実施内容とスケジュールを具体的に記載)	開催日：平成28年6月26日(日)11時～17時30分 開催場所：三熊野神社境内、横須賀高校前広場、中本町通り(パレード) 参加チーム27チーム(420人)「楽器を持って踊ること」のルールのもと、3会場で1チーム3～4回演舞披露。オープニングに横須賀高校郷土芸能部による三社祭礼囃子披露、地元ダンスFLAVA友情出演。大パレード企画参加者全員で「掛川チャチャチャ」総踊りを連続パレード。 衛生協会会員11店他12店計23の出店。フォトコンテスト開催の為に写真募集。イベント事前準備5月19日、25日オープン練習会で「掛川チャチャチャ」レッスン。
事 業 成 果 (事業計画に記載した課題の解決・改善成果を確認方法の観点から記載)	閑散期6月の開催は静かな横須賀な町に450人のきれいな踊り子が往来するだけでも華やかになり、チーム演舞には観客と地元住民の応援で賑わい町全部が活気よく賑わい、23店の出店の一部は空き地利用もでき、勿論地元の店も賑わいました。スタッフは駐車場の対応に追われました。横須賀高校のボランティアスタッフの活躍は参加者から感心と称賛を頂きました。 宣伝不足と言われてきましたが、ポスター300枚、チラシ16000部、パンフレット2000部を製作し、チラシは新聞折り込みしました。
事 業 期 間	交付決定日 ～ 平成28年9月30日
協働の成果 (事業計画に記載した協働相手の役割の観点から記載) (※パートナーシップ事業・行政課題解決事業のみ)	参加チームのアンケートから「去年出店者が雨の水たまりで手を洗って仕事をするのに見てゾッとした。」と知りました。衛生管理の甘さはとても心配することでしたので衛生協会との協働でマニュアルを頂き、出店者へ手洗いの指導をしました。改めて衛生管理の意識向上に努めることができました。 衛生協会ということで出店者の対応も良くて大きな成果と思いました。
今後の展開 (短期・中期のビジョン、「協働」を見据えた観点から記載)	参加チームを増やしたい。 出店者の衛生管理の徹底。 衛生協会会員との連携で、地域の名物品や自慢品の販売出店テント増加と商店のPR。

様式第7号

収 支 決 算 書

団体名:横須賀よさこい実行委員会

(収入)

区分	決算額(円)	説明
補助金	400,000	市民活動推進事業補助金
協賛金	226,000	企業協賛、個人協賛
参加費	309,500	出演料、出店料
自己財源	289,584	実行委員会会費、応援団会費
合計	1,225,084	

(支出)

区分	決算額(円)	説明
報償費	64,000	講師料、謝礼
文具消耗品費	31,136	発電機ガソリン、事務用品
印刷製本費	210,939	ポスター、チラシ、パンフレット、コピー代、デザイン料
食糧費	45,412	スタッフ弁当、お茶代
通信運搬費	11,590	切手代
使用料・貸借料	776,671	ステージ、音響、地方車組立、テント、会場費、プロデュース料
手数料	84,044	広告宣伝費、交通警備、県証紙、ゴミ焼却、食券小判
保険費	1,292	ボランティア保険
合計	1,225,084	
(うち対象外経費)	408,212	デザイン料108000、食糧費45412 プロデュース料250000、食券小判4800

様式第 14 号

事業報告書

団 体 名	Takegawa Band Festival 実行委員会
事 業 名	Takegawa Band Festival
事 業 内 容 (実施内容とスケジュールを具体的に記載)	<p>「Takegawa Band Festival」を以下日時に実施 日時：平成28年7月17日（日）午後5時～午後8時45分 場所：県道掛川停車場線（掛川駅前通り） 事業内容：賑わいエリア…午後5時～午後8時45分まで</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元商店街の商店や地元企業により、地場製品の販売促進や商店街のPR及び商店街の店舗への誘客連動を図り地元商業の活性化を果たしました。 <p>演奏エリア…午後5時～午後8時30分まで</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掛川を中心としたアマチュアバンドによる音楽を演奏し「音楽のまち掛川」として音楽文化を楽しみました。地元学生部活動等と協力し、日頃の成果を発揮できる場を創り披露して頂きました。これにより未来を担う若者や子供達の貴重な体験の場とする。
事 業 成 果 (事業計画に記載した課題の解決・改善成果を確認方法の観点から記載)	<ul style="list-style-type: none"> ・約5000人の過去最高の来場者数で街なかへ人を（特に若者を）呼ぶためのコンテンツとして成果を出した。 ・バンド、吹奏楽、ダンス等、若い世代の活動の発表の場として大きな成果を得た。ご父兄や関係者の来場も多かった。 ・ネットや広告での周知により、全国区コンサート開催地として「音楽のまち掛川」の市民意識の向上につながり、音楽に関する情報発信拠点となりつつある。 ・5回目の開催で、市民に対して恒常的にコンテンツを提供していく事で、人を呼び込み、定着が図られた。「音楽」は比較的人に呼び込みやすいコンテンツであると実証された。
事 業 期 間	平成 28 年 6 月 15 日 ～ 平成 28 年 12 月 25 日
協働の成果 (事業計画に記載した協働相手の役割の観点から記載) (※パートナーシップ事業・行政課題解決事業のみ)	
今後の展開 (短期・中期のビジョン、「協働」を見据えた観点から記載)	5回目が実施され、定着化した事業として確かな手応えを感じ協働相手他も実施後会議にて同意見であった。次年度開催実施予定であり2月以降に次年度会議をスタートさせる。運営費は広告協力等協賛金の増額を検討し、今後も若者中心に「音楽のまち掛川」を発信していくKBFを存続させたい。

様式第7号

収 支 決 算 書

団体名:KakegawaBandFestival実行委員会

(収入)

区分	決算額(円)	説明
補助金	310,000	掛川市市民活動推進事業パートナーシップ事業
出店料	171,000	45店舗分(テントレンタル4000円含む)
協賛金	155,000	街づくり株式会社55000円、商工会議所3万円、駅通り名店会3万円、5000円×8社(広告宣伝協賛費)
自己負担	5,392	
合計	641,392	

(支出)

区分	決算額(円)	説明
報償費	26,966	謝礼品費(ダンス協力4団体、吹奏楽2団体)
文具消耗品費	17,558	事務用品代
印刷製本費	189,800	宣伝広告費チラシ20000枚
食糧費	18,051	会議費、飲料代
通信運搬費	115,600	動画配信費(当日撮影スタッフ2名派遣、動画アップ用ビデオ編集)80000円、楽器運搬31500円(東高、西中、会場椅子)、切手4100円
使用料・貸借料	169,680	会場設営費13131円(ガーランド代等)、投光器22680円、27000円(ガイ・松浦梱包)、音響費PA3か所108000円
手数料	103,737	道路許可申請費2300円、振り込み手数料108円、道路交通警備費81000円、シルバー誘導員19789円
合計	641,392	
(うち対象外経費)		

様式第 14 号

事業報告書

団 体 名	倉真温泉組合
事 業 名	倉真地区温泉郷おもてなし案内看板製作事業
事 業 内 容 (実施内容とスケジュールを具体的に記載)	<p><デザイン作業> 8月～11月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倉真地区サイン計画に基づくデザインでの設計 ・デザイン協議、ワークショップ等 8 回実施 <p><製作・設置作業> 12月～3月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看板構造体の製作、防腐処理、建込み ・屋根構造、基礎工事 1月～2月 ・地図パネル製作、取付け 3月 ・周辺整備、ベンチ、花壇 3月
事 業 成 果 (事業計画に記載した課題の解決・改善成果を確認方法の観点から記載)	<ul style="list-style-type: none"> ・倉真財産区産の杉丸太の骨組みは力強く美しいと好評。分かりやすく、きれいな案内地図や情報発信の掲示板によりPR効果は抜群。
事 業 期 間	平成 28 年 6 月 27 日 ～ 平成 29 年 3 月 20 日
協働の成果 (事業計画に記載した協働相手の役割の観点から記載) (※パートナーシップ事業・行政課題解決事業のみ)	<ul style="list-style-type: none"> ・倉真まちづくり委員会との協働することで、倉真地区サイン計画に基づいて製作した。それにより、倉真温泉だけでなく、地域全体を紹介するおもてなし案内看板とすることができた。
今後の展開 (短期・中期のビジョン、「協働」を見据えた観点から記載)	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、倉真地区、東山地区が協働で粟ヶ岳と倉真温泉郷を核とした観光・交流促進事業を検討している ・倉真温泉組合も協働し、観光客の増を目指す。

様式第7号

収 支 決 算 書

団体名:倉真温泉組合

(収入)

区分	決算額(円)	説明
補助金	300,000	市民活動推進事業補助金(パートナーシップ事業)
負担金	310,334	倉真温泉組合160334円 倉真まちづくり委員会150000円
合計	610,334	

(支出)

区分	決算額(円)	説明
報償費	80,000	看板本体設置・周辺整地技術料
文具消耗品費	255,777	看板本体材料(丸太・銅板・防腐剤など)、パネル材料、ベンチ材料、植栽花、ワークショップ文具
印刷製本費	162,800	パネル印刷、ワークショップ資料
食糧費	8,305	ワークショップ茶菓子代、作業時飲料(対象外)
通信運搬費	24,122	材料運搬
使用料・貸借料	30,000	重機借上料
手数料	49,330	防腐処理手数料
合計	610,334	
(うち対象外経費)	8,305	ワークショップ茶菓子代、作業時飲料(対象外)

様式第 14 号

事業報告書

団 体 名	どこ屋台実行委員会
事 業 名	どこ屋台事業
事 業 内 容 (実施内容とスケジュールを具体的に記載)	<p>あらかじめ位置情報発信アプリを入れたスマートフォンを各屋台においてもらい掛川祭41地区中31地区、和田岡地区2地区、倉真地区1地区の屋台位置情報と、「掛川祭どこ屋台」サイトで公開した。</p> <p><各屋台位置情報公開期間></p> <p>和田岡地区 9月30日～10月2日</p> <p>掛川祭、倉真地区 10月7日～9日</p> <p>また、1970年代～2000年代に撮られた掛川祭の写真を収集し、サイトに掲載すると共に、展示パネルを作成し、桔梗が丘広場、オープンデータデイ等で展示した。</p>
事 業 成 果 (事業計画に記載した課題の解決・改善成果を確認方法の観点から記載)	<p>「掛川祭どこ屋台」サイト閲覧数</p> <p>期間：10月9日～10月12日</p> <p>のべ利用者数：3,361人</p> <p>のべ閲覧ページ数：28,912ページ</p>
事 業 期 間	平成 28 年 6 月 20 日 ～ 平成 29 年 3 月 10 日
協働の成果 (事業計画に記載した協働相手の役割の観点から記載)	<p>協働していただいた掛川市役所IT政策課には、報道機関へのプレスリリースを掛けていただき、中日新聞より取材、新聞掲載され、どこ屋台の周知ができた。</p> <p>また、市役所内他課、掛川市観光協会との連絡調整をしていただき、スムーズに事業を行うことができた。</p>
(※パートナーシップ事業・行政課題解決事業のみ)	
今後の展開 (短期・中期のビジョン、「協働」を見据えた観点から記載)	<p>前期、今期を通して、屋台位置情報表示は実用的に使える形となった。</p> <p>掛川祭だけでなく、他祭りでの利用展開を進めたい。昔の掛川祭写真に関しても、過去の写真を収集・保管・公開することは有意義な事なので、今後も進めていきたい。</p>

様式第7号

収 支 決 算 書

団体名:どこ屋台実行委員会

(収入)

区分	決算額(円)	説明
補助金	250,000	掛川市市民活動推進事業補助金
自主財源	252,512	
合計	502,512	

(支出)

区分	決算額(円)	説明
報償費	295,400	WEB公開ページ開発製作
文具消耗品費	54,312	USB電池パック、乾電池
印刷製本費	89,100	PR用チラシ作成、検証・報告書作成
使用料・貸借料	63,700	竹の丸、報徳社大講堂使用料
合計	502,512	
(うち対象外経費)		

様式第 14 号

事業報告書

団 体 名	掛川青年会議所
事 業 名	希望（のぞみ）の翼～輝くちいきとまち創り～
事 業 内 容 （実施内容とスケジュールを具体的に記載）	日時 2016年6月26日（日）10：00～16：00 会場 希望の丘 イベント内容 ・ トライアルスポーツ教室 （福祉者スポーツセンター齊藤氏との協働） ・ ヨガ教室 外山祥子氏 ・ 山本篤氏壮行会
事 業 成 果 （事業計画に記載した課題の解決・改善成果を確認方法の観点から記載）	トライアルスポーツ教室では、障がい者の多くの皆さんに体を動かす機会を提供し、楽しさを知ってもらえる事が出来た。 市民、学生ボランティアの参加により障がいを持った方々と触れ合い、同じフィールドに立つことで支援の必要性を感じて貰えたと思う。 ヨガ教室や山本篤氏のリオパラリンピック出場の壮行会には多くの地域の方々に参加頂けた。
事 業 期 間	交付決定日 ～ 平成 28 年 9 月 1 日
協働の成果 （事業計画に記載した協働相手の役割の観点から記載） （※パートナーシップ事業・行政課題解決事業のみ）	障がい者スポーツ指導と運営、広報担当と役割分担をする事により、円滑な事業運営が出来ました。 協働に行う事により、いろいろな方々に協力、支援して頂けた。
今後の展開 （短期・中期のビジョン、「協働」を見据えた観点から記載）	本年度だけではなく継続事業として、来年以降も年 1 回行っていきます。 また今回の反省点を生かしながら、障がい者スポーツを市民の皆様に周知、理解して頂けるような事業を企画して行こうと思います。

様式第7号

収 支 決 算 書

団体名:掛川青年会議所

(収入)

区分	決算額(円)	説明
補助金	200,000	市民活動推進事業パートナーシップ事業
協賛・協力金	300,000	10,000円×30口
事業費	141,616	掛川青年会議所6月例会用事業費
合計	641,616	

(支出)

区分	決算額(円)	説明
報償費	167,320	講師謝礼(山本氏100000、外山氏35320)、 指導員4名@3000、看護師2名@10000
旅費	51,680	交通費(山本氏30000、外山氏14680) 宿泊費(外山氏7000)
文具消耗品費	18,100	文房具、花束、杭代
印刷製本費	136,830	ポスター500枚、チラシ7000部、 横断幕(5m)2枚@36180、看板プリント代
食糧費	37,300	スタッフ、ボランティア65名@540円(対象外) 掛川支援学校御礼
使用料・貸借料	108,482	音響機材、掛川支援学校体育館電気代
手数料	91,604	交通誘導員、コピー代(参加願い文書)、 手話通訳派遣代
保険費	30,300	イベント保険料
合計	641,616	
(うち対象外経費)	35,100	食糧費35100(スタッフ、ボランティア65名@540円)

様式第 14 号

事業報告書

団 体 名	松本亀次郎記念日中友好国際交流の会
事 業 名	松本亀次郎の生きた軌跡を学ぶ事業
事 業 内 容 (実施内容とスケジュールを具体的に記載)	<p>8月10日から9月21日の間で今まで収集した映像を台本に合わせる編集作業に入った。編集が概ねできた所でナレーションとバックミュージックの二胡演奏の音響を入れるなど作業を行い、その後理事会などで協議を重ね修正をして350枚コピーをし、シンポジウムに備えた。</p> <p>11月20日のシンポジウムに備えチラシを2000部作成し、会員・中国派遣中学生・組回覧・各戸配布をした。静岡新聞・中日新聞・郷土新聞などにも掲載していただき周知に努めた。講師3人と二胡奏者など依頼し、11月20日に東京女子医大大東キャンパスで国際シンポジウムを開催した。</p>
事 業 成 果 (事業計画に記載した課題の解決・改善成果を確認方法の観点から記載)	<p>シンポジウムには約220人出席があり市外からも多くの人が出席してくれた。3人の講師による講演や二胡演奏・舞踏などを行った。アンケートからも映像により良く理解できたなどの感想があった。これからも続けて欲しいなど要望もあった。これらにより松本亀次郎を知ってもらえることができ、偉業を顕彰することができた。</p>
事 業 期 間	平成28年8月8日 ～ 平成28年12月5日
協働の成果 (事業計画に記載した協働相手の役割の観点から記載) (※パートナーシップ事業・行政課題解決事業のみ)	<p>まちづくり協議会からも多くの人が出席していただき、映像を見てもらった。この映像を使ってまちづくり協議会人づくり部会で偉人顕彰事業として松本亀次郎を多くの人に紹介していく。また、松本亀次郎の会も講師や多くの資料を提供していく。</p>
今後の展開 (短期・中期のビジョン、 「協働」を見据えた観点から記載)	<p>12月25日には北公民館でまちづくり協議会と協働して大東地区の中学生と父兄を対象に映像を使って松本亀次郎の顕彰事業を行うこととしている。今後もまちづくり協議会と協働して松本亀次郎だけでなく吉岡彌生先生も合わせて郷土の偉人顕彰をしていく。</p>

様式第7号

収 支 決 算 書

団体名:松本亀次郎記念日中友好国際交流の会

(収入)

区分	決算額(円)	説明
補助金	300,000	掛川市市民活動推進事業補助金
会費	464,207	会費
合計	764,207	

(支出)

区分	決算額(円)	説明
報償費	350,000	講師3人×80,000円、二胡音源10,000円 動画編集一式70,000円、ナレーション30,000円
旅費	126,020	講師旅費
印刷製本費	58,775	チラシ・ポスター等
文具消耗品費	114,818	DVD他
食糧費	60,000	講師3人@1,000円、会員57人@1,000円(対象外)
使用料・貸借料	50,922	会場借用料
手数料	3,672	振込手数料
合計	764,207	
(うち対象外経費)	60,996	文具消耗品費3,996(期間外) 食糧費(会員弁当代)57,000

事業報告書

団 体 名	特定非営利活動法人 冀北の杜
事 業 名	「絵本は愛情ホルモン 優しい心のバトンをつなぐ」 ～障がい者就労で絵本を創る
事 業 内 容 (実施内容とスケジュールを具体的に記載)	1 実行委員会の組織化 NPO、行政、読書団体、 印刷 ICT 関係事業所の協働関係の構築 2 実行委員会の目的の共有と原稿募集要項策定 ワークショップ 3 回 3 きほくえほんのもりコンテスト開催告知 (9月上旬) 4 応募作品22点の審査会実施 (10月21日) 5 絵本挿絵制作 (11月～1月) 6 絵本を子供達へ寄附する寄附者を募集 (1月) 7 絵本の装丁と配布、及び読み聞かせ
事 業 成 果 (事業計画に記載した課題の解決・改善成果を確認方法の観点から記載)	市民の多くを巻き込んだ、市民による市民の為の創作 絵本プロジェクトとして企画趣旨が広く認知された。 また行政課題である障がい者の就労の多様性において、①障がい者の就労の多様性について広く啓発、②障がい者のもてる個人の能力の更なる開花、③市民の手を介して「こと」が、ソーシャルインクルージョンにつながったと考えている。
事 業 期 間	平成 28 年 8 月 1 日 ～ 平成 29 年 3 月 5 日
協働の成果 (事業計画に記載した協働相手の役割の観点から記載) (※パートナーシップ事業・行政課題解決事業のみ)	この「絵本は愛情ホルモン 優しい心のバトンをつなぐ」事業は、新聞にも取り上げて頂いて、大変多くの市民から、その仕組みについてお褒めを頂いた。これは、行政福祉課とのパートナーシップとして協働活動頂いたことが大きく効用していると考えている。絵本の原稿の応募数が多いのも、市民からは第1回目であっても信頼を寄せて頂いたと考えられ、行政のモデル事業としての位置づけは大きかった。
今後の展開 (短期・中期のビジョン、「協働」を見据えた観点から記載)	3回はこの事業を続けたいと考えていたが、コンテストの最優秀賞の方の喜びの大きさを考えると、継続していくのに楽しさも加わり、もう1年は補助金をいただくものの、クラウドファンディングの方式で、資金を集め、もう少しデラックスな装丁の絵本が出来るようにチャレンジしていきたい。(予算の関係で、教科書の副読本、ドリルのような装丁で残念)

様式第7号

収 支 決 算 書

団体名:特定非営利活動法人 冀北の杜

(収入)

区分	決算額(円)	説明
補助金	300,000	市民活動推進事業補助金 (パートナーシップ事業・福祉セーフティネット)
寄附金	80,000	1000円以上寄附(絵本1冊贈呈)
自己資金	20,442	NPO法人冀北の杜
合計	400,442	

(支出)

区分	決算額(円)	説明
報償費	27,000	司書等有識者会議(講師料・交通費・茶菓子含む)
文具消耗品費	13,194	DVD、、画材等
印刷製本費	301,440	募集チラシ3000枚 絵本製本費(原画、デザイン、製本料等)
食糧費	2,320	審査会湯茶代
通信運搬費	9,488	ハガキ代、切手代等
使用料及び貸借料	9,000	会議場借り上げ代
手数料	38,000	HP更新手数料、搬送準備手数料
合計	400,442	
(うち対象外経費)	0	

様式第 14 号

事業報告書

団 体 名	静岡 I C T 教育 21
事 業 名	ネット断食／自然体験プログラムによる子育て支援
事 業 内 容 (実施内容とスケジュールを具体的に記載)	「ネット断食（親子で学ぶネット/スマホ安全教室）/ わくわく自然体験ツアー」 の実施。 日時：2017/1/22（日）10:00-16:00 場所：NP0法人時ノ寿の森クラブ 予定：10:00開校式～10:30山の散策～ 12:30昼食作成など～14:00ネット断食ICT 教育講座～16:00閉校式。
事 業 成 果 (事業計画に記載した課題の解決・改善成果を確認方法の観点から記載)	①上記講座開催により、ネット/スマホの適切な利用と共に、深く考え、コミュニケーション力を向上させる方法も教育できた。結果的に、参加者が、情報機器を、賢く親子の幸福な生活のために役立つ仕方で活用していく方法を学べた。 ②携帯電話電波が「圏外」の施設において、数々の自然体験での十分な楽しみや親子のコミュニケーションを強められる経験ができた。
事 業 期 間	平成 28 年 8 月 8 日 ～ 平成 29 年 2 月 28 日
協働の成果 (事業計画に記載した協働相手の役割の観点から記載) (※パートナーシップ事業・行政課題解決事業のみ)	集客活動に関しては協働しての実施ができた。 また、実際の企画に関しては、各団体が長所を生かした内容を実施する事により、全体として課題解決に貢献する企画を実現できた。
今後の展開 (短期・中期のビジョン、「協働」を見据えた観点から記載)	今回、集客が予想以上に困難だったため、計画していた3回から1回の開催へと縮小せざるを得なかった。ただ、それでも、参加者からの感想や、ネット依存問題取材している朝日新聞社大阪本社社会部の記者の参加や記事化も含めて、この社会課題の一層の周知や解消方法の検討には大いに役立った。 次回以降、可能であれば、自然体験と組み合わせる事により、まずは掛川市内で定着させ、その後、その実績を元に県内で展開していきたい。

様式第7号

収 支 決 算 書

団体名:静岡ICT教育21

(収入)

区分	決算額(円)	説明
補助金	205,000	市民活動推進事業(パートナーシップ事業)
参加料	32,500	
団体負担	178,212	
合計	415,712	

(支出)

区分	決算額(円)	説明
報償費	66,800	ICT専門講師派遣、専門プログラム協力者派遣
旅費	40,430	講師交通費、打ち合わせ交通費
印刷製本費	161,710	チラシ印刷費
食糧費	6,341	プログラム食材費
通信運搬費	6,199	チラシ運送費
使用料及び貸借料	80,307	ICT講座テキスト使用料、会場使用料
手数料	53,925	HIS手数料(旅行業法)、運営管理費、等
合計	415,712	
(うち対象外経費)		

